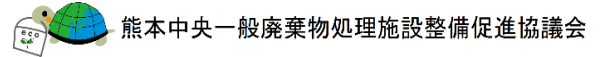


最終建設候補地の決定について



まずは、建設候補地としてご応募をいただきました関係地区の自治会長をはじめ、すべての自治会におかれまして、環境問題に関するご理解を頂きましたことに対して敬意を表するとともに、候補地の選定に対して多大なご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。



さて、益城町、嘉島町、西原村、御船町、甲佐町、山都町、および「益城、嘉島、西原環境衛生施設組合」、「御船町甲佐町衛生施設組合」、「御船地区衛生施設組合」で構成する熊本中央一般廃棄物処理施設整備促進協議会（以下「協議会」という。）では、昨年6月、民意及び専門の見地から建設候補地を評価するため、地域住民及び有識者等から構成される諮問機関「熊本中央新施設建設候補地評価委員会（以下「評価委員会」という。）」を設置しました。

その後、評価委員会において評価方法・基準等を決定し、公募・推薦によりご応募いただいた建設候補地10箇所の適性評価が行われ、今年1月にその結果について協議会が答申を受けました。

最終建設候補地の選定にあたっては、評価委員会の答申内容を最大限に尊重し、併せて本事業にとって必要不可欠である地域住民や地権者との合意形成の難易度などを踏まえ総合的に検討を行った結果、このたび公募により応募いただいた中から、5月17日の協議会において、「**古閑原、古閑迫地区（御船町大字上野）**」を最終建設候補地として決定いたしました。

今後、地元での説明会を経て、速やかに用地取得に取り掛かってまいります。

なお、目標では新たなごみ処理施設の稼働時期を平成37年度としていますが、熊本地震や、その後の大雨等の自然災害によって各町村の財政状況は想定以上に厳しくなっているため、建設工事への着手時期については、各町村の財政状況を勘案しながら検討してまいります。（6月7日 現在）

最終建設候補地位置概略図



拡大



出典：地理院地図（国土地理院ウェブサイト）を加工して作成

※図中の●（建設候補地）はあくまで位置の表示であり、候補地の筆界を示したものではありません